第6回矯正官署契約監視会議議事概要

開催日 平成21年10月26日（月）

場 所 法務省大臣官房会計課会議室

出席委員 八木澤 壯 一 （東京電機大学名誉教授）
関 沢 紘 一 （米海軍在日統合法務局 国際法首席顧問）
青 木 聖 子 （実践女子短期大学非常勤講師）

審議対象契約 矯正官署が平成21年4月から平成21年7月までの間に締結した契約1,857件

1 重点検討対象契約及び質疑事項等

(1) 職員健康診断委託契約（一般競争入札）

契約金額 3,038,677円

支出負担行為担当官 横浜刑務所長・久里浜少年院長・小田原少年院長・
横浜少年鑑別所長

(質問) 職員の健康診断を4庁で一括調達した契約であるが、総額は前年と比べて安くなっているのか。

(説明) 一概に比較はできないが、仮に本年度契約単価（平成21年度契約単価）に、前年度に4庁全ての施設において受診した人員を当てはめて経費を比較してみると、人員の多い横浜刑務所の契約単価が前年度に比べて高額になったため、全施設の総額としては、前年度より約1万3千円増加したこととなる。しかしながら、残り3庁の少年施設は、刑事施設と併せて契約することで、スケールメリット等によって安価になっている。

(質問) 予定価格の積算方法は、診療報酬と参考見積を比較して、安価な方を採用する方法であり、前年度と変わらないということだが、特に横浜刑務所での契約単価が高くなっているのはなぜか。

(説明) 前年度については、落札した業者の落札率が予定価格の50パーセントであったのに対し、他の入札者は、80パーセントから90パーセントの間の入札金額であったことから、落札した業者が積極的な競争を行ったため、本年度と比べて、安価と

なったものと推察される。

また、本年度は共同入札を実施した関係で業者の移動に係る経費が含まれたものと推察される。

(質問) 予定価格について、業者は確認することができるのか。

(説明) 現在は、ホームページにも公表されていることから、確認は可能である。

(2) 乗用車交換購入契約（一般競争入札）

契約金額 17,861,932円

支出負担行為担当官 府中刑務所長

(質問) 旭川刑務所等9施設10台の乗用車を府中刑務所で一括調達した契約であるが、この一括調達は成功した事例なのか。

(説明) 落札率が8割台(83.1%)になったことから、成功した事例ととらえている。メリットも大きいですが、他施設分も併せて調達事務を行うことから、施設担当者の負担が大きいので、今後も引き続き一括調達の是非について検討していきたい。

(3) コピー用紙購入契約（一般競争入札）

契約金額 3,578,473円

支出負担行為担当官 名古屋矯正管区長・岡崎医療刑務所長・名古屋刑務所長・名古屋拘置所長・瀬戸少年院長・愛知少年院長・豊ヶ岡学園長・名古屋少年鑑別所長

(質問) 愛知県下の矯正施設が一括調達を行った契約であるが、前年度と比べてどの程度差が出たのか。

(説明) 全体で70万円程度安価となった。

(意見) 落札率が97.7パーセントと高めだが、予定価格よりも低い入札で、成功したといえる事例である。

(4) 総務系派遣契約（一般競争入札）

契約金額 2,351,685円

支出負担行為担当官 宮崎刑務所長

(質問) 入札調書を見ると、応札者はいずれも同じような価格で入札している。落札率が43.7パーセントと低いため、総務系派遣契約を重点検討対象契約としたが、予定価格の積算方法とともに業務上のトラブルはないのか。

(説明) 予定価格は、当該地域の最低賃金も考慮に入れ、積算資料等

を基に算定しているが、今後は参考見積書を取るなどして市場価格の把握に、より一層努めたい。

業務上のトラブルについては、本契約内容が、物品の運搬や整理など比較的単純な業務が中心となっていることもあり、現在のところトラブルは発生していない。

(5) 被収容者被服用生地（綾織白地）購入契約（一般競争入札）

契約金額 8, 996, 400円

支出負担行為担当官 加古川刑務所長

（質問） この生地（綾織白地）の購入契約については、入札5回目でも落札されているが、入札調書に記載されている他の生地（細布白地）は5回入札しても落札しなかったのか。

（説明） 結果的に細布白地の生地は、不落による随意契約となった。この生地は、加古川刑務所から全国の刑事施設に管理換するもので、被収容者の生活に必要な枕カバー、シーツ等を作るための生地であることから、調達の遅れが全国の施設に影響することになり、調達を遅らせるわけにはいかなかったためである。

(6) 残飯廃棄物処理委託契約（一般競争入札）

契約金額 6, 696, 144円

支出負担行為担当官 徳島刑務所長

（説明） この契約は、前年度の第3回矯正官署契約監視会議で一般廃棄物（食物残さ）収集運搬処理委託契約（随意契約）として審議された徳島刑務所の契約であるが、養豚業者が廃業となったことから、今年度は一般競争入札へ移行した契約である。

（意見） 一般廃棄物として入札することになると、当然、契約金額が高価になるので、残念な結果となったものであろう。

(7) 総務系事務委託契約（随意契約）

契約金額 4, 996, 178円

支出負担行為担当官 和歌山刑務所長

（質問） 契約書に記載されている栄養管理業務（請負代金42万円）というのは、分担分のようなものなのか。

（説明） この業務は、管理栄養士の国家資格を持っている方に実施していただく必要があるため、資格に係る加算分である。資格を持った正規の職員の配置が困難なため、業務委託の形態で契約

している。

(質問) 契約期間が2月となっているが、年間ではないのか。

(説明) 一般競争入札の公告を行い、応札者4者で年間分の入札を実施した後に、応札業者が人材確保ができなくなったとして契約辞退を申し出たため、あらためて入札するまでの期間の2月分について随意契約したものである。

(8) 居室錠改修工事用錠購入契約 (随意契約)

契約金額 3, 772, 870円

支出負担行為担当官 横浜刑務所長

(質問) 刑事施設で使用している鍵ということで、市販品ではなく特別な鍵であるため、随意契約となることは理解できるが、契約金額が以前に購入(70個)した時より安価だったというのは、何度も交渉して金額が下がったのか。

(説明) 何度も交渉したわけではなく、以前購入した時よりも購入個数(173個)が多くなるので少し安価であると予想していたところ、業者から提出された見積りが予想よりも安かったものである。

(9) N95マスク購入契約 (随意契約)

契約金額 3, 465, 000円

支出負担行為担当官 宮城刑務所長

(質問) マスクが品薄で購入が困難であったとの理由で随意契約としているが、他施設の状況はどうだったのか。

(説明) この購入がなされた6月ころは、品薄で購入が困難だったようである。大阪近郊では、特にインフルエンザが流行していたので購入したい数量が確保できず、東北や北海道の業者にも連絡した施設もあったと聞いている。

当初、厚生労働省のガイドラインが厳しかったので数量の確保が困難になるのではないかと心配していたが、感染してもあまり重症化しないことが分かってからは、購入しやすくなったようである。

しかしながら、緊急性という点で十分に説明ができるか疑問が残るところもあるので、施設に対して指導を行っていきたい。

(10) 生ごみ廃棄処理業務委託契約 (随意契約)

契約金額 1, 053, 360円

支出負担行為担当官 笠松刑務所長

(質問) 町の廃棄物処理業者がテリトリー分けし合っていて、自治体から許可証を発出されている2業者のうち、笠松刑務所がある地域を担当している一方と随意契約を結ばざるを得ないということだが、もう一方の業者も随意契約している業者と同じ価格なのか。

(説明) 参考見積を取得したが、随意契約している業者よりも1.2パーセント高い金額であった。

2 意見具申等

今回審議した契約を見ると、いろいろ工夫、努力されている。前年度と比べて予定価格の算定の仕方も良くなっている。

今後も引き続き努力して、適正な調達となるようにしていただきたい。

3 矯正官署契約監視会議議事運営の一部変更について

会議の開催日数と、その時期について、座長から、別添「矯正官署契約監視会議議事運営の一部変更について(案)」のとおり、一部変更を図りたい旨の提案があり、各委員の了解を得た。

別 添

平成21年10月26日

矯正官署契約監視会議議事運営の一部変更について（案）

1 変更部分

(1) 会議の開催

「会議は、年3回開催し、その時期はおおむね6月、10月及び2月とする。」を

「会議は、年2回開催し、その時期はおおむね6月及び10月とする。」に

(2) 検討の対象とする契約

「各回において検討の対象とする契約は、6月開催分については12月から3月まで、10月開催分については4月から7月まで及び2月開催分については8月から11月までに締結されたものとする。」を

「各回において検討の対象とする契約は、6月開催分については8月から3月まで及び10月開催分については4月から7月までに締結されたものとする。」に変更する。

2 変更時期

平成22年に開催する会議から変更する。

参考

{比較表}

	現 行		変 更 後	
	開催時期	対象契約（件数）	開催時期	対象契約（件数）
1	6月	12月～3月（457件）	6月	8月～3月（861件）
2	10月	4月～7月（1553件）	10月	4月～7月（1553件）
3	<u>2月</u>	<u>8月～11月（386件）</u>	<u>（6月開催に集約）</u>	

注 件数は平成20年度実績概数。下線が変更部分。

{2月開催分を6月開催分に集約する理由}

2月開催分の検討対象契約数は、少なく、6月開催分の契約数と合算しても、10月開催分の契約数に及ばないため。

6月開催分と10月開催分の会議の意見は、翌年度の年度当初からの契約に確実に反映できるため。

会議は今回で6回になり、審査も安定し、かつ、年2回の開催でも成果を得られると考えられるため。